



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月30日

上場会社名 ニチハ株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7943 URL <https://www.nichiha.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山中 龍夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 殿井 一史 TEL 052-220-5111
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	93,294	4.4	10,049	4.7	10,373	5.1	7,985	9.4
2019年3月期第3四半期	89,322	1.9	9,599	△7.9	9,867	△7.0	7,298	△7.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 7,476百万円 (12.2%) 2019年3月期第3四半期 6,666百万円 (△23.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	216.31	215.86
2019年3月期第3四半期	197.35	196.97

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	140,178	92,258	66.0	2,515.15
2019年3月期	136,068	87,404	64.5	2,374.08

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 92,577百万円 2019年3月期 87,799百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	28.00	-	28.00	56.00
2020年3月期	-	30.00	-	-	-
2020年3月期（予想）	-	-	-	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	127,100	6.7	14,000	10.1	14,300	8.8	10,700	7.9	289.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	37,324,264株	2019年3月期	37,324,264株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	516,276株	2019年3月期	341,495株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	36,918,335株	2019年3月期3Q	36,980,472株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びその他業績予想に関する事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資は堅調に推移したものの、鉱工業生産は海外経済の減速に伴う輸出の低迷などから弱含み、個人消費は緩やかな持ち直しにとどまるなど、景気は横ばい圏で推移し、一部に弱さも見られました。

住宅産業におきましては、新設住宅着工戸数は貸家の大幅な減少傾向が続き、2019年4月～同年11月までの新設住宅着工戸数は前年同期比6.3%の減少となりました。ただし、当社グループ事業と関係が特に強い戸建て住宅に限っては同2.1%の増加となりました。

こうした中、当社グループの主力製品である窯業系外装材の当第3四半期累計期間における業界全体の国内販売数量は、貸家向けの落ち込みの影響が大きく、前年同期比0.6%（JIS規格対象外の12mm厚製品を含む基準）の減少となりました。

このような市場環境の下、当社グループは、生産効率改善にかかる各種施策の徹底により生産・供給体制の強化を図るとともに、窯業系サイディングで業界初となる塗膜30年保証の新シリーズをはじめ、高付加価値商品の拡販に取り組みました。また、非住宅市場向けの営業施策の強化や、成長を続けている米国を始めとする海外マーケットのさらなる開拓に努める一方、各種合理化や生産性向上によるコスト削減にも注力いたしました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結業績は次のとおりとなりました。

(金額単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	
			金額	率 (%)
売上高	89,322	93,294	3,971	4.4
営業利益	9,599	10,049	450	4.7
経常利益	9,867	10,373	505	5.1
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,298	7,985	687	9.4

売上高につきましては、主力の国内事業は業界全体の販売量が減少する中、高付加価値商品の拡販などにより業界内シェアを順調に上昇させて増収となったほか、米国窯業系外装材も増収となったことから、全体の売上高は932億94百万円と前年同期比39億71百万円（4.4%）の増収となりました。なお、業界内シェアにつきましては、当第3四半期連結累計期間では50.5%と前年同期比2.7ポイント、当第3四半期会計期間（3ヵ月）では51.8%と同3.7ポイントそれぞれ上昇し、直近の12月単月では52.6%と過去最高を記録しました。

損益につきましては、国内における物流のコストアップがあったものの、国内外装材事業が増収により増益となったほか、米国・中国の窯業系外装材事業も増益となり、営業利益は100億49百万円と前年同期比4億50百万円（4.7%）の増益、経常利益は103億73百万円と同5億5百万円（5.1%）の増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、当第2四半期累計期間に中国子会社で固定資産売却益を計上したこともあり、79億85百万円と同6億87百万円（9.4%）の増益となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

外装材事業

売上面では、前記のとおり、国内外装材事業、米国窯業系外装材事業のいずれも増収となったことから、売上高は860億70百万円と前年同期比38億78百万円（4.7%）の増収となりました。

また、損益面では、前記のとおり、国内外装材事業、米国・中国の窯業系外装材事業の増収に伴う増益により、セグメント利益（営業利益）は119億50百万円と前年同期比4億96百万円（4.3%）の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末に比し純資産が48億53百万円、総資産が41億9百万円それぞれ増加した結果、自己資本比率は66.0%と1.5ポイントの増加となりました。

増減の主なもの、流動資産では受取手形及び売掛金が8億39百万円、商品及び製品が13億60百万円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が3億63百万円、仕掛品が5億4百万円それぞれ減少したことなどにより、流動資産全体で11億86百万円増加しております。また、固定資産では有形固定資産が36億36百万円増加した一方で、投資その他の資産が5億30百万円減少したことなどにより、固定資産全体で29億23百万円増加しております。

負債では、流動負債が11億81百万円減少した一方で、固定負債が4億37百万円増加したことにより、負債合計は7億43百万円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期(自2019年4月1日至2020年3月31日)の通期の連結業績予想につきましては、2019年11月7日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

なお、今後の動向等により業績予想の修正が必要となった場合には、適時に開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,172	32,808
受取手形及び売掛金	29,200	30,039
商品及び製品	12,525	13,886
仕掛品	2,343	1,838
原材料及び貯蔵品	3,230	3,197
その他	921	817
貸倒引当金	△49	△58
流動資産合計	81,343	82,530
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,135	11,063
機械装置及び運搬具（純額）	9,930	9,305
工具、器具及び備品（純額）	353	328
土地	20,380	20,378
リース資産（純額）	271	234
建設仮勘定	294	5,693
有形固定資産合計	43,366	47,003
無形固定資産		
リース資産	57	45
ソフトウェア	1,306	1,019
その他	231	347
無形固定資産合計	1,595	1,412
投資その他の資産		
投資有価証券	5,728	5,661
繰延税金資産	2,458	2,065
退職給付に係る資産	233	230
その他	1,366	1,297
貸倒引当金	△24	△24
投資その他の資産合計	9,762	9,231
固定資産合計	54,725	57,648
資産合計	136,068	140,178

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,905	15,220
短期借入金	2,763	1,755
リース債務	116	113
未払法人税等	1,898	1,053
賞与引当金	1,481	647
役員賞与引当金	104	75
製品保証引当金	595	485
その他	9,685	11,019
流動負債合計	31,551	30,369
固定負債		
長期借入金	13,416	13,780
リース債務	239	189
繰延税金負債	379	389
役員退職慰労引当金	162	152
製品保証引当金	1,154	1,154
退職給付に係る負債	1,565	1,688
その他	195	197
固定負債合計	17,113	17,551
負債合計	48,664	47,920
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,136	8,136
資本剰余金	10,933	10,933
利益剰余金	67,417	73,261
自己株式	△319	△819
株主資本合計	86,167	91,511
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,162	2,223
為替換算調整勘定	△237	△898
退職給付に係る調整累計額	△292	△258
その他の包括利益累計額合計	1,632	1,065
新株予約権	112	131
非支配株主持分	△507	△450
純資産合計	87,404	92,258
負債純資産合計	136,068	140,178

（2）四半期連結損益及び包括利益計算書
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）
売上高	89,322	93,294
売上原価	53,759	55,930
売上総利益	35,563	37,363
販売費及び一般管理費	25,964	27,314
営業利益	9,599	10,049
営業外収益		
受取利息	82	117
受取配当金	79	80
不動産賃貸料	67	66
為替差益	47	15
受取保険金	35	94
その他	78	90
営業外収益合計	390	464
営業外費用		
支払利息	104	92
その他	16	47
営業外費用合計	121	140
経常利益	9,867	10,373
特別利益		
固定資産売却益	7	554
特別利益合計	7	554
特別損失		
固定資産除却損	22	26
投資有価証券売却損	—	94
特別損失合計	22	121
税金等調整前四半期純利益	9,852	10,806
法人税、住民税及び事業税	2,255	2,431
法人税等調整額	251	329
法人税等合計	2,507	2,761
四半期純利益	7,345	8,044
（内訳）		
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,298	7,985
非支配株主に帰属する四半期純利益	47	58
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△596	61
為替換算調整勘定	△127	△663
退職給付に係る調整額	44	33
その他の包括利益合計	△679	△568
四半期包括利益	6,666	7,476
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,618	7,419
非支配株主に係る四半期包括利益	47	56

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注3)
	外装材事業				
売上高					
外部顧客への売上高	81,552	7,770	89,322	—	89,322
セグメント間の内部売上高 又は振替高	639	1,762	2,401	△2,401	—
計	82,191	9,532	91,724	△2,401	89,322
セグメント利益又は損失(△)	11,454	324	11,778	△2,179	9,599

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、繊維板事業、工事事業、FP事業、その他事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△22億12百万円及びその他の調整額33百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注3)
	外装材事業				
売上高					
外部顧客への売上高	85,425	7,868	93,294	—	93,294
セグメント間の内部売上高 又は振替高	645	1,797	2,443	△2,443	—
計	86,070	9,666	95,737	△2,443	93,294
セグメント利益又は損失(△)	11,950	378	12,329	△2,280	10,049

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、繊維板事業、工事事業、FP事業、その他事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△23億26百万円及びその他の調整額46百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。